

=====

ウェルネスフード推進協会シンポジウム

「機能性表示食品制度の展開とこれからのウェルネスフード開発の方向性」

=====

昨年度の機能性表示食品の総届出数は 1,372 件となり、機能性表示食品制度が始まった 2015 年から数えて 2022 年 4 月時点で累計届出数がおよそ 5,400 件に達しました。

その市場規模は 3500 億円台に到達し、特定保健用食品とともに健康関連食品市場を牽引する大きな柱となっています。

また機能性表示食品が受理されるヘルスクレームにおいては、免疫などの新たな機能性のカテゴリーから、果物や野菜などの生鮮食品といった食品のカテゴリーまで、領域が拡大しつつあります。

このような機能性表示食品の市況において、機能性表示の届出から受理までの手続き期間の短縮化を目指して、消費者庁と外部機関とが連携した体制強化が進んでいます。

本シンポジウムにおいては、大阪大学大学院 医学研究科 臨床遺伝子治療学 教授 であり弊協会理事の森下竜一氏がファシリテーターを務め、順天堂大学大学院医学研究科 教授であり日本抗加齢医学会 前理事長の堀江重郎氏、そして消費者庁 食品表示企画課 保健表示室長の蟹江誠氏を迎え、『機能性表示食品制度の展開とこれからのウェルネスフード開発の方向性』というテーマでシンポジウムを開催いたします。

■テーマ：機能性表示食品制度の展開とこれからのウェルネスフード開発の方向性

■主催：一般社団法人ウェルネスフード推進協会

■後援：株式会社RDサポート

■開催日時：2022 年 6 月 28 日（火）15：40-18：00 ※受付開始 15：30 より

■開催形式：会場およびオンライン

■開催場所：日本橋ライフサイエンスビルディング 2 階 201 大会議室

■参加人数（会場）：先着 100 名 ※会員の方を優先とします。

参加人数（オンライン）：500 名

※会場参加をご希望の方は、弊協会会員の方を優先的に受付致します。

そのため、非会員の方はオンラインへのご移動をお願いする場合がございます。予めご了承頂けますようお願い申し上げます。

■参加費用：

会員：無料

非会員：3,000 円

■登壇者：

・大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授 森下竜一 氏

登壇テーマ：変化する機能性表示食品制度への期待

・順天堂大学大学院医学研究科・泌尿器科外科学主任教授・遺伝子疾患先端情報学教授・デジタルセラ

ピューティックス講座教授 堀江重郎 氏

登壇テーマ：飽食から選食へ 機能性表示食品の意義

・消費者庁 食品表示企画課 保健表示室長 蟹江誠 氏

登壇テーマ：機能性表示食品制度の今後の取組について

■申込方法：以下 URL よりお申込みください。

<https://20220628wfasymposium.peatix.com/>